

市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和８年７月２０日（月・祝） １５時００分～１６時２０分

場 所：渋谷学習センター３０５講習室

テ ー マ：市政全般

参加人数：９人

出 席 者：古谷田市長、マーケティング課長、広聴・マーケティング係４名

タウンミーティングの概要、昨年度の意見に対するフィードバックを説明後、参加者から意見聴取。

【意見】

- ・ 大和市南部は市街化調整区域が非常に多い。
- ・ 特に小田急線から東側の地域、自治会でいうと、下和田、上和田、宮久保、久田といった地域の市街化調整区域を見直したほうがよいと思う。
- ・ この地域の現状としては、スクラップヤード、資材置き場、トラックの駐車場など、こういったものが３１カ所ある。
- ・ 使われていない農地もあり、行政によって歪められた地域といってよいと思っている。
- ・ ２０年、３０年後を見越したまちづくりを進めていかないといけないと考えている。
- ・ まちのライフサイクルは人間のライフサイクルと同じで、高齢化、老朽化していくものである。
- ・ 今の大和市をけん引しているのは北部地域であるが、将来の大和市を考えると南部地域の開発、活用されていない土地の開発が必要である。
- ・ 人口増加している地域は、海老名市や開成町で、大和市も増加しているが、子育て政策などのソフト面だけでは人口は増えなくて、まちの開発といったハード面も必要で、ソフトとハードの両面を進めていかなければならない。
- ・ 持続可能な都市を目指すためには、南部地域を市街化調整区域から外すべきと考えている。

【市長】

- ・ 大和市の未来というところで、南部地域もそうだが、既存のものを有効活用していくことを、職員と一丸となって考えており、まちづくりと道路を一体的に進めていくための計画（まちを育てる未来のみちづくりプラン（大和市道路整備計画））の中に落とし込んでいる。
- ・ 市街化調整区域の許認可は県が持っているので、計画に沿った形で働きかけも行っていく。
- ・ 道路に関しては、南大和相模原線、市役所の前の道路は、北側は中央林間のロピアのところで開発が止まっているので、中央林間から先の道路はあるが、かなり狭いため、相模大野に行くには１６号線を通して大きく迂回しなければ

ばならない。

- ・ 相模大野駅から大和市境まで続く、相模原市側の道路（相模大野線）はある程度進んでいるので、大和市側の既存の計画（南大和相模原線）をしっかりと進めていきたい。
- ・ 小田急線西側を縦断する福田相模原線は、高座渋谷で止まっており、藤沢市への接続ができていない。
- ・ こういったところを計画に組み込んでおり、必要に応じて国や県にも働きかけながら、市街化調整区域を含めて、見直しについて考えていきたい。
- ・ 久田の上和田野鳥の森など、貴重な自然は残しつつ、都市部の自然は人の手を入れ、無責任な状態をなくして、不法投棄や事件事故の温床にならないようにしていきたい。
- ・ 20年、30年後の未来を見据え、南部地域についてもしっかりと考えていく。
- ・ 南部地域を含め、市全体にある、既存のものを有効活用し、人と自然が共存しながら、企業誘致にも取り組んでいきたい。
- ・ まちづくりに関しては時間が必要で、私が思っていたよりも時間がかかるが、策定した計画を前進させていく。

【意見】

- ・ 大和市はこれまで様々な宣言を行ってきたので、「レディーファースト大和～女性は太陽である」と「A I 大和」を宣言して、市政や教育に波及させていってもらいたい。

【市長】

- ・ レディーファースト、女性を大事にしていきたいという想いについて、今は性別ではなく、分け隔てなく人として見ていかなければいけない。
- ・ 私は昭和生まれで男性よりも力の弱い女性を守っていかなければならないと育てられてきたが、時代は変わり、女性、男性関係なく、人としての権利は同じであり、人としてどう生きていくか、幸せになれるかというのが重要となっている。
- ・ 女性を大切にしていくというご提案について、人が互いに尊重していく社会にならなければいけないと思っているので、お互いが思いやる社会、誰一人として取り残さない社会にしていきたい。
- ・ 女性がというのではなく、人として誰もが生きやすい社会にしていきたい。
- ・ A I については、目まぐるしく速さで進歩している。
- ・ 人ができることは何でもA I が対応できることは大変便利であるが、最終的に人が判断しなければならないことがまだある。
- ・ 行政がA I を活用していくにあたり、効率が上がり市民の利便性が向上するものであればよいが、時間をかけてやっていかなければいけないもの、人と人とのふれあいの中で、スピード重視でやってよいものと、人と人が関係性を築いていかなければならないものがあるので、そこは慎重にならざるを得

ない。

- ・ A Iについて、市民の皆さんのためになることは取り入れていきたいと考えているが、もう少し検証する時間がほしいところである。
- ・ 市業務のD Xにより効率化を図っており、そういった部分でも市民の利便性が向上するよう努めている。

【意見】

- ・ 現在、中学校のP T A会長をしており、家庭・地域教育活性化会議やコミュニティセンターの会議など、地域の様々な会議に参加して感じるのは、地域のつながりや一体感が以前より薄れつつあるということである。
- ・ その一方で、地域に関わりたいと思っている人は、けっして少なくない。
- ・ 学校で実施した保護者アンケートでは、学校や地域に何らかの形で関わりたいという声が意外と多かった。
- ・ しかしながら、P T Aや自治会の加入者が減少し、担い手不足も続いている。
- ・ 地域活動に関係するそれぞれの会議でお会いする顔ぶれはいつも同じで、様々な役職を兼任しているため負担は大きく、このままでは担い手が疲弊し活動を持続していくことが難しくなると感じている。
- ・ 地域に関わりたい人が減ったのではなく、人と地域活動を結び付ける仕組みが今の時代に合わなくなっているのではないかと思う。
- ・ 今年度から地域に関わる施設や会議の予算が削減されている。
- ・ 予算に関しては様々な意見があるかと思うが、これをきっかけとして、地域活動の目的や在り方、必要性を考える動きが出てきたことは、よいことだと思っている。
- ・ 私自身、P T Aをはじめとして、正解を持っているわけではないが、この地域活動を見直そうという動きが、ただ単に活動を縮小したり、無くしていくのではなく、地域をより一つにし、安全安心や郷土愛につながっていくとよいと思っている。
- ・ このような現状をどのように受け止め、地域に関わりたいという市民の思いを、これからどのような形で地域づくりにつなげていこうと考えているか聞かせていただきたい。

【市長】

- ・ 自治会、P T A、それぞれの課題として、定年の引き上げや共働き世帯の増加により、担い手不足が深刻である。
- ・ 自治会もP T Aも任意の団体であるため、行政から直接的に指示はできないが、地域が自発的に動くことも難しい状況なので、一緒になって課題を解決していければと思っている。
- ・ 自治会に関しては、他地域の先進的な事例、成功例を参考にしながら、少しでもよくしていきたいという思いで動いている。
- ・ 自治会などの地域活動は大切なものであり、宝だと思っている。
- ・ 消防団も担い手が不足しており、どうしたらよいのかを、皆さんと議論して

いきたい。

- ・自治会も担い手不足というところで、負担の大きい役員制度を廃止して、軽くつながるというか、手伝える人が手伝える形で、情報を拡散して無理のない範囲で支え合うやり方がある。
- ・こういったやり方があるということを自治会のかたとも話している。
- ・LINEの活用が広がってきているが、使いたくない、使えないという人もいるので、どうやって交わらせるか。
- ・スマホは持っているけど、使い方が分からないという人には、例えば、教室を開いてできるように教えてあげられるとよいかもしれない。
- ・一気にデジタル化するという考え方もあるが、今できているかたができなくなるおそれもあるので、時間をかけて話し合っていかなければならないと思う。
- ・自治会やPTAなど、地域で一生懸命にやっていただいていることなので、少しでも参加できる形、気軽に参加できる形を作っていきたいと思っている。
- ・ガッツリはできないけれど、参加したい気持ちはあるので、30分なら手伝えるという人もいる。
- ・そういった人に参加してもらって、少しずつ関係を築いていって、皆で助け合える社会にしていきたい。

【意見】

- ・市施設の命名権に尽力され、自主財源の確保を進めていることは大変素晴らしいと思う。
- ・9月26日に大和市で初めての花火大会が開催されるということで、成功に導いてもらいたい。
- ・同時に、少しでもまちにお金が落ちるようになること、事故がなく無事に終わることを願っている。
- ・コミュニティバスについて、今年の10月から料金が値上がりすることに、私は賛成である。
- ・先日、のろっと南部ルートに乗ったら、ほぼ満員で25人くらいが乗っていたが、全員の運賃を合計しても2500円にしかない。
- ・現在の最低賃金が1225円なので、単純計算でも元は取れない。
- ・100円が200円に上がるということで、いろいろ意見があるかもしれないが、今まで100円でやっていてくれたことに感謝する。
- ・近所に住んでいる人も、のろっとが便利で活用しているので、値上げをしても存続させてほしいと言っている。
- ・コミュニティバスは民間企業では採算が合わなく運行できない。
- ・車両、整備、保険、燃料を運賃100円では賄えず、動くわけがない。
- ・かと言って、200円でも動くわけではないのだが。
- ・市の財政負担が少しでも軽くなるのであれば、値上げして存続させてほしい。
- ・利用者は感謝すべきである。

【市長】

- ・ 運賃の値上げは苦しい決断であったが、厳しい財政状況を踏まえ判断した。
- ・ 現在、職員が一丸となって、財政健全化に向けた取組を進めている。
- ・ 財政健全化をしていく中でも、数字にとらわれてはいけないことがあって、市民が元気になることもやっていかなければならない。
- ・ 財政が厳しいから、予算をどんどん削って楽しいこともない元気のないまちになってしまうと、市民から選ばれなくなってしまう。
- ・ 子育て王国ということで力を入れているが、大和市はおもしろい、魅力があるということ、交通利便性が高く、災害に強いということもあり、大和市の将来に対する期待値が高い。
- ・ 人から選ばれるまち、企業から選ばれるまちというのは、期待値の高いまちなのである。
- ・ 花火大会については、大和青年会議所が中心になって進めていて、市も協力してほしいということで、全面的に協力している。
- ・ 今年50周年を迎える神奈川やまと阿波踊りも関東三大阿波踊りとして、大和市の魅力を発信している。
- ・ 企業が本社や拠点を選ぶにあたっては、将来性のあるまちが選ばれている。
- ・ その中で、楽しそうなまちというのは重要な要素だと思うし、柱としては交通利便性の高さ、災害に強いところが、選ばれるまちになっている。
- ・ 来年は花博もある。
- ・ 厚木基地に関しては、変化していくと考えており、将来的には返還が最大の目標であるが、返還されるまでに時間がかかるのであれば、民間利用もよいと思っている。
- ・ 軍用機ではなく、民間機が人とモノを運ぶようになったら、皆から喜ばれるというか、幸せになれるような形になると、大和市の将来性というのは楽しみになってくると思う。
- ・ コミュニティバスも含め、大和市の行政サービス全体を見直しており、財政健全化につなげていく。

【意見】

- ・ 自宅から一番近い避難生活施設は中央林間小学校で、小学校低学年のこどもだと30分かかってしまう距離である。
- ・ 市内には私たちのところ以外にも学校が遠い地域があるが、新設は難しいと思うので、学区の見直しやスクールバスの運行など柔軟に対応してもらいたい。
- ・ 市内に特別支援学校の本校がなく、分校があっても高校だけである。
- ・ 市内小中学校には特別支援学級があるので大丈夫と言うが、対応が難しいかたもいるので、ぜひ市内に特別支援学校が設置されるよう県に働きかけてほしい。
- ・ 災害時のペットの同行避難について、大和市は相模獣医師会と協定を締結し

ているが、市内で相模獣医師会に入っていないその他の獣医にも協力してもらい、安心して避難できる体制を引き続き検討してほしい。

【市長】

- ・ 小学校にスクールバスというご意見であったが、財政的に厳しい状況であるため、ご意見として受け止めさせていただく。
- ・ 学区の見直しも簡単ではなく、北部の人口が増加し児童が多い学校はプレハブ教室で対応している。
- ・ 北部にもスポーツができる環境を整えたい気持ちはあるが、それも難しい状況で、学区について教育委員会でも様々な検討がされているが、現状を大きく変えることはできない。
- ・ 大規模マンションができると、こどもの数が大きく増えるので、こういった声があることを教育長や教育委員会とも話し合っていきたい。
- ・ 特別支援学校については、近隣の座間と瀬谷にあり、大和南高校と大和東高校に分校があるが、本校をととなると大変難しい状況である。
- ・ 大和市としては、特別支援教育センターのアンダンテで児童・生徒や保護者への継続した支援をしながら、県には本校設置を望む声があることを引き続き伝えていく。
- ・ 先日の台風（台風7・8号）では、自主避難場所として、スポーツセンター、保健福祉センター、ゆとりの森仲良しプラザの3か所を開設した。
- ・ 職員が夜中から開設準備を行い、朝5時に現場確認した際には受け入れ体制が整っており、ペットの避難場所についてももしっかり確保されていた。
- ・ 私も犬と暮らしていたので家族同然という感覚であるが、動物アレルギーのかたもいらっしゃるので、大規模災害が発生し、長期に渡って避難生活をしなければならない状況になった場合に、しっかりと対応できるように、長期的な視点で考えていく。

【意見】

- ・ 旅行が趣味でいろいろな場所を訪れているが、どこから来たか尋ねられて神奈川県大和市と答えると、「どこですか？」と聞き返されることが多い。
- ・ 先日、同じ県内の川崎市でも「大和市ってどこ？」と聞かれた。
- ・ そういう時に大和市の場所と魅力を伝えたいと思っているので、市長が考える現在の魅力と、今後どのような魅力を打ち出していくのかをお聞きしたい。
- ・ 2年前のタウンミーティングで、精神障がいのあるかたが気軽にかけられるようにバス代を無償にしてほしいという要望があったが、その後どうなったのかを教えてください。
- ・ 先ほどあった、のろっとの話と逆行してしまうが、市が運営しているので、障がいのあるかたを無償にしやすいのではないかと考えている。

【市長】

- ・ 市議会議員時代、視察先の自治体で、「大和市ってどこ？東京？奈良？」と聞かれて、場所を説明してもなかなか分かってもらえず、横浜市の隣と伝え

てなんとなく分かるといった経験をしているので、大和市のシティセールスをしていきたいと思っている。

- ・ 神奈川やまと阿波踊りは関東三大阿波踊りと言われているが、まだまだ全国規模での知名度はない。
- ・ 大和市の魅力をどんどん発信していきたい。
- ・ 先ほどもお伝えしたが、交通利便性が高く、災害に強いということは大きな魅力なので打ち出していきたい。
- ・ 特に、市内に私鉄3社8駅あり、どの駅も市域の徒歩圏内に位置しているところに、コミュニティバスを運行することで、交通利便性をさらに高めている点は大きな強みと考えている。
- ・ こういったところに加え、厚木基地が民間利用できるようになれば思っており、民間機が人とモノを運ぶようになって、皆が幸せになれるような形になれば、大和市だけでなく、神奈川県西部の発展につながる。
- ・ スポーツでは大和シルフィードが頑張っており“大和市はこれだ”と言えるものを発信できるようにしていきたい。
- ・ これまでも障がいのあるかたへの支援について、ご意見をいただいているが、財政状況が厳しい中で、今は健全化させる、立て直すことに注力している状況である。
- ・ こういったことは、国や県が主体的に実施するべきであり、今後も積極的に働きかけていく考えである。
- ・ 今後、国の交付金の活用なども検討していきたいが、直ぐには難しく、時間がかかってしまうことをご理解いただきたい。

【意見】

- ・ こども一る高座渋谷は、他の地域と異なり、月曜と木曜の実施がないため、今日タウンミーティングに参加したこの3名が、ボランティアで2日分を補っているので、月曜から金曜の平日は、毎日実施するようにしてほしい。
- ・ 下和田の郷で親子サロンを行っている。
- ・ 下和田の郷は渋谷中学校学校開放事業であるが、この近辺は住宅が少なく、参加する親子は徒歩や自転車を使って来ている。
- ・ 渋谷や福田など線路を越えて来るかたもいるので、駐車場を整備してほしい。
- ・ 学校開放は車を使わないでくれと言われているが、赤ちゃんや兄弟連れ、今日みたいな暑い日や寒い日に車が使えないのはとても厳しい。

【意見】

- ・ こども一る高座渋谷は、イオン大和店の中のわいわいパークという有料施設の一部を、週に3日間9時から14時で借りている。
- ・ 曜日が少なく時間も短いので、遊びに来れるかたも限られる。
- ・ お母さんがたが、行きたい時にいつでも行けるようにしてほしい。
- ・ I K O Z Aにも保育室はあるがスタッフは常駐していないので、ここにスタッフが常駐するとよいと思う。

- ・ イオン大和店は日時の制限や予算的な課題があると思うので、I K O Z Aの保育室を活用するのもよいのではないかな。

【意見】

- ・ 北部地域の人口が増えているという話があったが、南部地域も戸建が増え子育て世帯が増えてきている。
- ・ 子育てを頑張っているお母さんがたにとって、外に出てこどもを遊ばせ、子育て中のかたと交流するのはとても大切なことである。
- ・ 私たちは少しでもお手伝いできたらと思いボランティアで活動している。

【市長】

- ・ 日頃から地域に貢献いただき感謝申し上げる。
- ・ こども一る高座渋谷については、開催日の拡大について、協力いただいている㈱イオンファンタジーと調整をしているところであり、結果が出るまでにはもう少し時間をいただきたい。
- ・ 学校開放については、私も地区学校開放事業実施委員会を長くやっていたので、車の利用が制限されていることに対して様々な声があることを承知している。
- ・ 学校施設については、学校教育のために設置されており、それ以外の用途には制限がある中で、各地区の学校開放事業実施委員会が教育委員会から委託を受けて実施している。
- ・ 駐車スペースを柔軟に使えるようにしたい気持ちはあるが、各地区の学校開放事業実施委員会が責任を持って運営しているので、ご意見について、関係する部署にお伝えさせていただく。

【意見】

- ・ 先ほど、大和市の知名度について、奈良県と間違われるという話があったが、その通りである。
- ・ 全国で“大和”だけの市は、大和市だけで、他は東大和市とか大和郡山市とか前後に言葉が付く。
- ・ 大和市をもっと有名にして、もっとふるさと納税をしてもらえるように。
- ・ 女性は素晴らしい、こどもが生まれないと何も始まらない。
- ・ 市長も女性から生まれた。
- ・ 市長の在任期間中に、女性の後継者を育成してもらいたい。

【市長】

- ・ 生む、生まないではなく、女性も男性も輝く社会にしていきたい。
- ・ シティセールスには力を入れていきたい。
- ・ 来年の花博はよい機会なので、瀬谷区に来たら大和市に寄るという流れを生むような仕掛けができないか、市の職員と一緒に考えている。
- ・ インフルエンサーとコラボしてSNSの発信力を上げ、ふるさと納税返礼品の魅力も上げていきたい。
- ・ 大和市には有名な梨や葡萄があるのだが、行き先がほとんど決まっているた

め、返礼品に回すことが難しい。

- ・ 大和市に野球用品を製造している企業の支社があり、グローブを返礼品にしてもらっており人気がある。
- ・ その他、ドライブレコーダーやお食事券なども人気がある。

【意見】

- ・ 市内にある Team KAGAYAMAの水野涼選手が人気である。
- ・ ドゥカティ（ドゥカティ・パニガーレV4R）というバイクで戦績も素晴らしく、バイク好きの人には有名なので、何か返礼品にできるとよいのではないか。
- ・ もう一つ、大和駅に100本のスプーンというレストランを誘致してはどうか。
- ・ 若い世代のお母さんならみんな知っている、こども向けメニューが充実した人気のレストランで、東京の二子玉川、豊洲、現代美術館、神奈川はあざみ野にある。
- ・ おしゃれでこども連れに優しいお店なので、遠方から訪れる人も多い。
- ・ 大和市に越してきた人は便利で住みやすいと言っているので、大和駅を単なる乗り換えだけの駅にするのはもったいないし、シリウスも近くにあるのでぜひ大和駅に誘致して、親子に優しい二子玉川のようなまちになることを願っている。

【市長】

- ・ 綾瀬市にはスーパーフォーミュラのB-Max Racing Teamの本拠地があり、モータースポーツの振興と市のPRや振興を相互に行う協定を結んでいるので、大和市にバイクのチームがあるのなら、何かコラボできるとよいかもしれない。
- ・ 二子玉川のようなまちに、というのは素敵なアイデアだと思う。
- ・ 私は民間で事業を起こしてやってきた経験があるので、できる、できない、にとらわれず、柔軟に物事を考えていきたいので、ご意見を関係する部署に伝える。

【意見】

- ・ 大和市には知る人ぞ知るといふ企業やお店があるようなので、大和市で経営していきたいと思えるような支援をするべきである。
- ・ また、宮城県仙台市と言えばアイリスオーヤマ、新潟県長岡市と言えば越後製菓のように、神奈川県大和市と言えばこの企業というような、シンボリックな企業があるとよいと思う
- ・ 現在も起業家支援をされているが、時間がかかることなので、大和市のシンボルと言えそうな大きな企業に成長するまでの継続支援をお願いしたい。

【市長】

- ・ 中央林間に小型衛星を開発運用する会社があり、市としても宇宙関連産業の

支援をしていきたいと考えている。

- ・ 相模原市には J A X A（宇宙航空研究開発機構）があり、神奈川県も加わって連携協定を締結している。
- ・ 今、相模原市、神奈川県と良好な関係を築いているので、新たな分野として宇宙関連産業を呼び込めるようにしていきたい。

【意見】

- ・ 先ほど、大和市で花火大会があるとの話が合った。
- ・ 費用がかなりかかるものなので、財政状況が厳しい中で、どのような経緯で実施することになったのか教えてほしい。

【市長】

- ・ 花火大会は理屈を抜きにして、市民を元気にする力があると思っている。
- ・ 近隣の自治体の多くも花火大会を開催している。
- ・ 市長に就任した令和5年から検討を始めていたが、財政的に厳しい状況もあり、市として実施することは難しかった。
- ・ 私はかつて大和青年会議所に所属していたこともあり、花火大会のことを伝えたところ、大和青年会議所の若者たちが主体となり、市は後援という形で開催する運びとなった。
- ・ この花火大会が形になって毎年開催できるようになるとよいと思っている。
- ・ そういったことで、企業は大和市が面白いと思える。
- ・ 今、いろいろな企業のかたと話す機会があり、大和市の将来性を語る時に、夢も語っている。
- ・ そういったことを市長就任から3年続けてきて、大和市の評価、大和市は面白そうだということが、徐々に伝わり、選ばれるまちになっている。
- ・ これからも、大和市の可能性を語って、企業や人につなげていきたい。
- ・ 花火大会が企業や人から選ばれるきっかけになればと思っている。

【意見】

- ・ ここまで話が出ていないが、神奈川やまと古民具骨董市がとてもよい。
- ・ ニッポン放送でも宣伝されており、とても有名なイベントである。
- ・ 上を向いて元気に行こう。

【市長】

- ・ 骨董市は一昨日も訪れたところで、海外からもたくさんのお客様が来場される人気のイベントに成長しており、今度「出張！なんでも鑑定団 i n 大和市」の収録も行われる。
- ・ 大和市を代表するイベントのひとつであり大切にしていきたい。
- ・ 花博終了後にできるテーマパークは、ゲーム、アニメ、マンガなどのジャンコンテンツになると思っているので、大和市もそういった部分売り込めるようになりたい。
- ・ 先日、金沢市を訪れ市長や職員と話す機会があった。

- ・ 金沢市は、前田利家や兼六園などの歴史や文化に関する資源が豊富にあるが、毎年、手を変え品を変え、常に新しい切り口でにぎわいを創出している。
- ・ そこに予算も割いているから、観光客が絶えないという話であった。
- ・ 観光資源に乏しい自治体であっても、無ければ作ればよい、という視点でにぎわいを創出しているところもある。
- ・ ある世界的な企業が本社を世界のどこに置くか社員に希望を募り、ゲーム、アニメ、マンガがあり、日本食が美味しく、治安がよい、東京を選んだという話がある。
- ・ ニューヨークなど世界の大都市ではなく、日本の面白さや安全性を優先して本社を置いたのである。
- ・ 大和市は交通利便性と災害に強いという現時点の強みに、厚木基地の民間利用や新たなスマート I C が実現したら、大和市の魅力は格段に上がる。
- ・ 道路の整備やまちづくりといった分野は、時間がかかるので、今の段階で計画に落とし込み、先を見据えて進めていく考えである。